

第2学年 社会科(歴史的分野)学習指導案

1 単元名 「近代国家の歩みと国際社会」 -新しい価値観のもとで- (帝国書院)

2 単元について

- 本単元は、学習指導要領の内容(1)ウ及び(5)イを受け、「開国とその影響、富国強兵・殖産興業政策、文明開化などを通して、新政府による政策の特色を考えさせ、明治維新によって近代国家の基礎が整えられて、人々の生活が大きく変化したことを理解させる」ことをねらいとしている。近代社会を築いた欧米諸国のアジア進出によって、日本は欧米諸国と不平等条約を結び開国せざるを得ず、国際的地位の向上を目指して様々な改革に着手し、日本の近代化につながった大きな転換期に当たる。鎖国から開国へと対外政策を転換したことで、国内に与えた影響や武家政権に代わって近代国家が形成される流れを理解させ、日本の近代化の動きを把握させるのに適切な題材であると考ええる。また、開国による影響や日本の近代化を多面的・多角的に考察させるために、日本の開国という判断は正しかったのかを討論型の学習として取り扱うことで、思考力・判断力・表現力の育成につなげたい。
- 意識調査によると、本学級の生徒は、社会科の学習について「好き・少し好き」が37%、「普通」が40%、「少し嫌い・嫌い」が23%と、約4人に1人の生徒が社会科に対する苦手意識をもっている。さらに、資料やグラフの読み取りを「あまり得意でない・苦手」とする生徒が約4割、重要語句を理解することが「あまり得意でない・苦手」とする生徒が約5割、そして自分の言葉で表現することが「あまり得意でない・苦手」とする生徒が約6割を占めるなど、社会科を苦手と感じている生徒が多い。
- 指導に当たっては、単元をつかむ段階で、ペリーが日本に対して開国を迫ったときに、自分だったら開国の要求を受け入れるか鎖国を続けるか、生徒に考えさせる活動を取り入れる。その際に、欧米列強の近代化やアヘン戦争での清の敗北など、当時の世界情勢について確認させようとして判断させ、「開国によって日本はどのように変化したか」という学習問題Ⅰを設定し、明治維新までの歴史の流れを理解させる活動を展開する。ここでは、開国による政治的・経済的・文化的な影響や明治維新の様々な改革について調べさせることで、開国が人々の生活に与えたプラスとマイナスの両面について整理させ、開国の是非に関心をもたせるように工夫する。単元内容をまとめる段階では、江戸幕府が開国への判断を迫られた場面に立ち返り、「日本は開国してよかったのだろうか」という学習問題Ⅱを設定し、学習問題Ⅰを通して学んだ知識を活用しながら意思決定させたい。その後の討論型の学習では、開国派と鎖国派に分け、開国が人々の生活に与えた影響を根拠にしながら自分の考えを主張させる。様々な考えを聞くことで、開国による日本社会の変化について多面的・多角的に理解を深めさせ、開国が日本の歴史転換となり、日本の近代社会が成立したことに気付かせたい。

3 単元の目標

- (1) 日本の近代化の動きに対する関心を高めさせ、開国による人々の生活の変化や近代国家の形成への動きについて意欲的に追究し捉えようとさせる。
- (2) 開国の影響や明治政府の政策について多面的・多角的に考察させ、江戸幕府の開国の是非について、根拠を基に自分の言葉で表現させる。
- (3) 開国の影響や明治政府の政策に関する様々な資料を収集し、有用な情報を適切に選択して開国が日本に与えた影響についてまとめさせる。

- (4) 欧米諸国のアジア進出が、対外政策の転換、江戸幕府の滅亡、近代国家の基礎の形成など大きな転換期となり、人々の生活を大きく変化させたことを理解させる。

4 評価規準

社会的事象への 関心・意欲・態度【関】	社会的な 思考・判断・表現【思】	資料活用の 技能【技】	社会的事象についての 知識・理解【知】
<p>○開国による人々の生活の変化や近代国家形成の動きなど、近世から近代にかけての歴史的事象に対する関心を高め、意欲的に追究しようとする。</p> <p>○近代国家を形成していった人々の努力について意欲的に考えようとする。</p>	<p>○開国の影響や明治政府の政策を多面的・多角的に考察し、江戸幕府の開国の是非について、根拠を基に公正に判断できる。</p> <p>○江戸時代と明治時代を比較することで、近世の政治や社会との違いに着目して考察し、自分の言葉で表現できる。</p>	<p>○開国後の物価や人々の生活の様子など様々な資料を活用し、開国が人々の生活に与えた影響を読み取ることができる。</p> <p>○開国の影響や明治政府の政策に関する様々な資料を収集し、有用な情報を図表などにまとめたりしている。</p>	<p>○欧米諸国のアジア進出が、対外政策の転換、江戸幕府の滅亡、近代国家の基礎の形成など大きな転換期となり、人々の生活を大きく変化させたことを理解し、その知識を身に付けている。</p> <p>○明治時代の生活や文化が西欧化する様子を理解し、その知識を身に付けている。</p>

5 単元計画（全8時間 本時8/8）

過程	主な学習活動	教師の働き掛け(○)	評価(・)評価の観点【】	時配
つかむ	<p>○当時の幕府の立場になって「鎖国か、開国か」自分の考えを表現する。</p> <p>○幕府が開国へと対外政策を転換したことを理解し、アメリカと結んだ条約の内容について調べる。</p>	<p>○当時の世界情勢や大名の意見を参考にさせながら、開国すべきかどうかを考えさせる。</p> <p>○日本はアメリカと不平等条約を結んだことを確認し、学習問題Iを導き出す。</p>	<p>・江戸幕府は開国すべきかどうかについて自分の考えを適切に表現している。【思】</p> <p>・日本の近代化について学習問題を考え、調べようとしている。【関】</p>	1
	<p>開国したことで日本はどのように変化したのだろう。</p>		<p>《学習問題I》</p>	
調べる	<p>○開国による経済の影響について、様々な資料を基に調べる。</p> <p>○尊王攘夷の考えが高まったことを資料から読み取る。</p>	<p>○物価の上昇や安価な綿糸・綿織物の輸入など、人々の生活が苦しくなったことを資料から読み取らせる。</p> <p>○尊王攘夷の考えが高まったことに気付かせ、次時の倒幕の流れにつなげる。</p>	<p>・開国によって、経済面では人々の生活が苦しくなったことを、資料から読み取っている。【技】</p>	1

	<p>○江戸幕府滅亡に至るまでの経緯について、年表を用いて整理する。</p> <p>○幕末までを通して、日本の開国は正しかったのか考える。</p>	<p>○開国による不満の高まりが、攘夷から倒幕運動へと変わり、江戸幕府の滅亡へとつながったことを理解させる。</p> <p>○幕末までの社会の様子を踏まえながら、開国して良かったか考えさせる。</p>	<p>・江戸幕府の滅亡までの経緯を年表に整理し、幕府滅亡のきっかけを読み取っている。 【技】</p> <p>・開国して良かったかどうか、根拠を基に説明している。 【思】</p>	1					
	<p>○明治政府の政策について調べ、江戸時代と比べて、政治や社会がどのように変化したのか調べる。</p> <p>○明治政府が目指した国家の特色について考える。</p>	<p>○明治政府の政策の内容を整理しながら、江戸時代との違いに着目させて、近代社会の特色を理解させる。</p> <p>○政策の資料を用いて、明治政府が目指した国家の特色を考えさせる。</p>	<p>・江戸時代と明治時代を比較して、近世の政治や社会との違いを読み取っている。 【技】</p> <p>・明治政府が目指した国家の特色について、根拠を明らかにして適切に表現している。 【思】</p>	2					
	<p>○明治政府の政策による影響について整理させる。</p> <p>○開国から明治維新までの流れを整理し、学習問題Ⅱを設定する。また、これを論題に意思決定1を行う。</p>	<p>○明治政府の政策に対して整理させることで、開国が与えた影響について理解させる。</p> <p>○開国による影響を整理することで、学習問題Ⅱへと導き、開国派か鎖国派かの意思決定を迫る。</p>	<p>・明治政府の政策が国民生活に与えた影響について理解している。 【知】</p> <p>・開国派か鎖国派かについて、これまでの学習内容の情報を基に自分の考えをまとめている。 【思】</p>	1					
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">論題</td> <td style="width: 40%;">日本は開国してよかったのだろうか</td> <td style="width: 20%;">《学習問題Ⅱ》</td> <td colspan="2"></td> </tr> </table>					論題	日本は開国してよかったのだろうか	《学習問題Ⅱ》		
論題	日本は開国してよかったのだろうか	《学習問題Ⅱ》							
考 え ・ ま と め る	<p>○討論型の学習に向けた調査活動と準備を行う。</p>	<p>○自分の考えの根拠となる資料に付箋を付けて、自分の考えを整理させる。</p>	<p>・根拠となる適切な資料を探し、自分の考えをまとめている。 【思】</p>	1					
	<p>○討論型の学習を通して、様々な意見を聞いた上で、意思決定2を行う。</p>	<p>○自分の考えの根拠となる資料を基に、理由を説明させる。</p> <p>○様々な意見を参考に、自分の考えを深め、意志決定させる。</p>	<p>・様々な意見を聞き、自分の意見を再構築し、根拠を明らかにして適切に表現している。 【思】</p>	1 本時 (8/8)					

6 本時の目標

日本が開国した判断の是非について、討論の内容を踏まえながら、自分の考えを再構築し、適切に表現することができる。
 （社会的な思考・判断・表現）

7 展開(全8時間 本時8/8)

学 習 活 動	教師の働き掛け(○)と評価【】
1 前時までの内容を振り返る。 2 本時のめあてをつくる。 〈学級全体〉	○キーワードを板書することで、これまでの学習内容を具体的に思い出させる。 ○本時のめあてを確認させる。
めあて 他の人の意見を参考にしながら、日本の開国について考えを深めよう。	
3 学習問題Ⅱに対する自分の考えを確認する。 〈個人〉 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 社会的な問題【解決すべき課題】 江戸幕府が鎖国をやめて開国したこと。 </div>	○自分がどのような立場かを再度確認させる。
学習問題Ⅱ 日本は開国してよかったのだろうか。	
4 学習問題Ⅱに対して、開国派と鎖国派のそれぞれの立場になってグループで討論を行う。 〈グループ〉 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 〈討論の流れ〉 ① 発表タイム (班で自分の意見を発表する。) ② 作戦タイム (班員の意見に対する質問・意見を考える。) ③ 反撃タイム (考えた質問・意見を発表する。) </div>	○自分と同じ立場の意見については、自分が書いていない新しい情報のメモを取り、自分の意見を補うために必要な情報かを選択させる。 ○自分と異なる立場の意見については、メモをとり、反論できるものか、納得したものかを判断させる。 ○討論の意見を整理させることで、意志決定の判断材料にする意識を高めさせる。
5 グループでの討論を参考に、自分の考えを発表させる。 〈学級全体〉	○説得力が増すように、根拠を明らかにしながら自分の考えを表現するように促す。
6 討論で出た意見を踏まえ、再度開国派か鎖国派かの意思決定を行い、根拠を明らかにしながら、自分の考えをワークシートに記述する。 〈個人〉	○学習問題Ⅱについて、これまでの自分の意見と討論で出た意見を参考にし、自分の考えを深めさせながら、ワークシートに記述させる。 <div style="text-align: right;">【評価】</div>

8 本時の評価

評価規準	日本が開国した判断の是非について、討論の内容を踏まえながら、自分の考えを再構築し、適切に表現することができる。 (社会的な思考・判断・表現)		
判定基準 (判断の目安)	十分満足できる状況(A)	おおむね満足できる状況(B)	努力を要する状況(C)
	学習問題Ⅱについて、討論で出た意見を踏まえつつ、根拠を基に理由を示して自分の考えを記述している。	学習問題Ⅱについて、これまでの学習内容を基に、理由を示して自分の考えを記述している。	(B)に達していない記述
→(B)、(C)と判断した生徒への支援		→反対の立場の意見をどう思うか考えさせ、根拠を基に理由を示して書くように指示する。	→これまでのワークシートを基に、開国派か鎖国派の根拠となる部分に印を付けさせる。
評価方法	ワークシートの記述		